

No.RN-1393, Oct. 2025

●ロシア語文献史上初めてアイヌの音楽と楽器を分析し、多くのアイヌ音楽フォークロアを記譜
アイヌ研究史上画期的なモノグラフ

ナタリヤ・マムチェヴァ著
アイヌの音楽世界 全2巻

学術編集者マリーナ・オシポヴァ(ロシア科学アカデミー人類学・民族学研究所上級研究員)

ユジノサハリンスク、「島嶼図書館」、2025 年刊、1199 頁

Мамчева Н.А.

Мир музыки айнов: монография. В 2 ч.

Науч.ред. Осипова М.В. Южно-Сахалинск, Островная библиотека. 2025 г., 1199 с. ISBN9785768812140. (R275443) hard ¥50,600.

■本書は、サハリン先住諸民族の音楽文化研究の第一人者マムチェヴァ(芸術学準博士)のモノグラフです。1200 頁の大著であり、その準備、執筆、完成に 10 年以上を費やしました。

■その一大特徴は、アイヌの音楽と楽器のすべてを洩れなく調査・研究したことにあります。

第 1 巻 様々な音楽ジャンルと 30 以上の楽器、それらに関連する口碑・伝説を分析

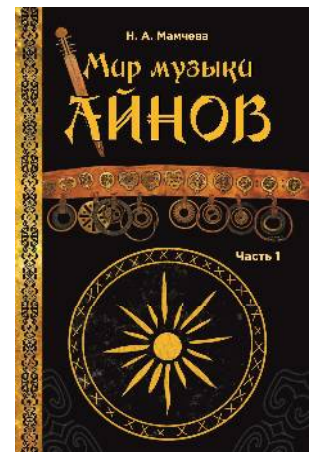
第 2 巻 歌謡の記譜(577 点)とテキストを掲載

■271 点のイラストを収め、そのうちの多くが、18～19 世紀の日本人画家によるアイヌの生活スケッチ(「アイヌ絵」)となっています。

■著者は、サハリン出身(1960 年生)で、ウラジオストクの国立極東芸術大学の「民族音楽創造」科で極北諸民族の音楽文化研究の第一人者シェイキン(1949-2023)に師事しました。学生時代からサハリン先住民族の民族誌調査に参加、卒論は「ニヴフ楽器トイングリンによる伴奏の構造的特徴」です。その後、サハリン芸術大学(プロの音楽家の養成所)の講師を務め、サハリンの先住少数民族のアイヌ、ウィルト人(オロッコ)、ニヴフ人(ギリヤーク)の音楽文化を調査・研究してきました。

■本書に先行して、著者は、ロシア有数のアイヌ研究家のマリーナ・オシポヴァ(本書の学術編集者)と共著で、2022 年に『アイヌの天空の伴侶たち』(Небесные спутники айнов)を上梓しました。この本で、歌謡を通してアイヌの鳥類崇拝の源泉に迫りました。

■『アイヌ発声口琴習俗の研究』(2003 年刊)の著者で元・北見工業大学教授の下村五三夫氏が、本書の学術コンサルタントを務めています。



●表示価格は消費税込みの価格です。